

報道資料

令和8年8月17日

1 件 名	山口市地域包括ケア推進フォーラム
2 日 時	令和8年8月29日(土)13時～16時
3 場 所	山口県健康づくりセンター 多目的ホール (山口市吉敷下東3丁目1-1)
4 内 容	＜テーマ＞ 「その人らしく生きる」を支えるために ～介護予防・ACP・認知症ケアの最前線～ 地域包括ケアシステムのさらなる深化を図るため、医療・介護・福祉関係者等を対象に、標記フォーラムを開催します。(詳細は実施要領のとおり) <u>取材等を希望される場合は、8月28日(金)までに、下記問い合わせ先へご連絡ください。</u> ＜実施主体＞ 主催：山口市 共催：山口・吉南地区地域ケア連絡会議 在宅緩和ケア専門部会・認知症地域ケア専門部会 【共催団体について】 山口・吉南地区地域ケア連絡会議(以下「ケア連絡会議」) 在宅緩和ケア専門部会・認知症地域ケア専門部会 ケア連絡会議は、山口市内の保健・医療・福祉の関係団体及び関係行政機関で構成され、高齢者等の在宅ケアを推進するため、関係機関相互の連絡調整を図り、健康と福祉の向上に取り組んでいます。在宅緩和ケア専門部会では、在宅医療・介護連携における緩和ケアに関する取組を行い、現在はACP(人生会議)の普及啓発を中心に活動しています。認知症地域ケア専門部会では、認知症ケアに関する取組として、専門職向けの学習会等を通じた認知症への対応力向上に取り組んでいます。
5 出 席 者	参加者:約280名 山口市介護予防・日常生活支援総合事業関係者、医療・介護・福祉関係者、 認知症カフェ関係者、行政職員等
6 問 い 合 わ せ	山口市高齢福祉課 地域包括ケア担当 担当:竹重 TEL 083-934-2792 メール:hokatsu@city.yamaguchi.lg.jp

令和8年度 山口市地域包括ケア推進フォーラム
～その人らしく生きるを支えるために 介護予防・ACP・認知症ケアの最前線～
実施要領

1 目的

山口市高齢者保健福祉計画に掲げる基本方針である「家族や地域の“絆”で支え合い、高齢者が自分らしく元気に暮らし続けられるまち」の実現に向け、地域包括ケアシステムのさらなる深化を図ることを目的とする。なお、本フォーラムは、山口市介護予防・生活支援総合事業関係者研修会としても位置付けて実施するものであり、介護予防(リエイブルメント)、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)、認知症施策などの地域支援事業について総合的な理解を促進する。

これらの事業は個別に完結するものではなく、地域支援事業の充実を通じて、高齢者が地域や医療・介護専門職とつながり、必要な支援を受けながら自分らしく暮らし続けられる地域共生社会の実現に向けて相互に連動するものである。また、高齢者の QOL(生活の質)の向上という共通の理念のもと、地域全体で支え合う仕組みを構築するための重要な取組である。

本フォーラムでは、講義に加え、具体的な取組の紹介や意見交換を通じて、医療・介護・福祉の専門職をはじめとする多様な関係者が連携の重要性を再確認し、地域における包括的な支援体制の充実を図る契機とする。

2 実施主体

主催：山口市

共催：山口・吉南地区地域ケア連絡会議 在宅緩和ケア専門部会・認知症地域ケア専門部会

3 日時

令和8年8月29日(土)13時～16時 (受付:12時30分～)

4 会場

山口県健康づくりセンター 多目的ホール (山口市吉敷下東3丁目1-1)

5 対象者

(1)山口市介護予防・日常生活支援総合事業関係者

- ・介護予防・日常生活支援総合事業 通所型及び訪問型サービス事業所
- ・リハビリ専門職相談派遣事業出務者
- ・地域包括支援センター職員

(2)医療・介護・福祉関係者

(3)認知症カフェ関係者

6 内容

時間	内容
13:00	開会 行政説明「山口市における介護予防・ACP・認知症施策の最新動向」
13:20～	基調講演「自分らしい暮らしを支えるリエイブルメント」 講師：(株)日本能率協会総合研究所福祉・医療政策研究部 部長/主幹研究員 服部 真治氏
13:50～	講義 「その人らしさ とは？」 講師：医療法人仁保病院 院長 貞國 太志氏(認知症地域ケア専門部会部会長)
14:20～	講義・ワークショップ 「ACPを知っていますか？わたしのノートで始める人生会議」 講師：在宅緩和ケア専門部会委員
14:50～	取組紹介① 「筋トレではなく“お味噌汁と卓球を”～リエイブルメントで結び直した家族と地域の絆～」 発表者：一般社団法人山口県作業療法士会 作業療法士 濱本 尊博氏
15:05～	取組紹介② 「認知症カフェとチームオレンジ」 発表者：特定非営利活動法人 山口ヘルスプロモーションネットワーク 理事長 長谷 亮佑氏
15:20～	トークセッション 「“自分らしく生きる”を支えるために大切な視点とは ～リエイブルメント・ACP・認知症ケアの共通軸～」 モデレーター：服部 真治氏 登壇者 (1)医療法人仁保病院 院長 貞國 太志氏(認知症地域ケア専門部会長) (2)山口赤十字訪問看護ステーション 管理者 上野 真由美氏 (在宅緩和ケア専門部会委員) (3)一般社団法人山口県作業療法士会 作業療法士 濱本 尊博氏 (4)山口市北東地域包括支援センター センター長 藤本 小百合氏
16:00	閉会